

「今週の一枚」



アカメガシワ (*Mallotus japonicus*) の芽ばえ

トウダイグサ科の落葉高木で伐採跡地などによくでてくるバイオニア樹種。種子は晩夏から秋に成熟し、ヒタキやメジロなどが食べて糞とともに散布されます。種子は土の中で20年以上生きるといわれ、伐採などで土に日が当たるようになると、温度変化を感じ取り発芽します。子葉は丸く脈が網状に見えます。本葉ははじめ赤味をおび（名前の由来はここから）、星状毛（毛先が星状に広がった毛）につつまれています。2年ぶりにリニューアルした「芽ばえ図鑑」もご覧下さい。（酒井敦）

（No.101 2004.6.24 掲載）